

a) 林業基礎①

科目		講師			
林業基礎①		森林管理署	(公財) 熊本県林業従事者育成基金	森林組合、民間林業事業者	熊本県
背景と目的	森林・林業の動向や森林の果たす多面的機能を理解し、森林の地形や生育状況に応じた施業並びに林業担い手に関する基礎知識を習得する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の区分や果たす役割、望ましい森林の姿、誘導の考え方等について ・林業における仕事の概要、森林・林業を支える多様な人材、これからの林業等について 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・森林・林業に関する基本制度や政策をはじめとした森林・林業を構成する様々な関連知識の全体像を理解する。 ・森林の機能区分と望ましい森林の姿に向かって誘導する森林施業の考え方及び手法を理解する。 ・生徒が林業という仕事に誇りややりがいを見いだすよう自ら考え、今後の森林・林業を担う大切な人材であることを認識する。 				
講義	(内容)	時間数			
		座学	実習	計	
林業入門①	くまもとの森林・林業及び林業担い手に関する基礎知識	3.0		3.0	
林業入門②	植物・土壌・地形・地質の基礎知識	3.0		3.0	
林業入門③	森林・林業の基礎的見識を高めるための森林・林業現場の見学		6.0	6.0	
森林の多面的機能	森林の持つ多面的機能発揮についての基礎知識	6.0		6.0	
森林・林業政策①	森林及び林業の動向や最新の制度	3.0		3.0	
森林・林業政策②	国有林野の役割と具体的取り組み内容	1.5		1.5	
森林・林業政策③	林地開発制度や保安林制度、伐採届をはじめとした山仕事をする際の必要な規制に関する知識	1.5		1.5	
計		18.0	6.0	24.0	
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準は「良」「可」「不可」 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を総合評価する。 ・不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 				
取得できる資格	特になし				

b) 林業基礎②

科目		講師		
林業基礎②		(公財) 熊本県林業従事者育成基金ほか	熊本県	
背景と目的	森林や樹木に触れながら県内の植生分布や樹種の特徴等を理解するとともに、林業担い手に必要な心構えと体力面の強化を図る。また、森林施業等で使用する道具・資材の構造等を理解し、点検・メンテナンスを定期的に行うために必要な知識や技術を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹種の特徴や特性等について ・ 山の歩き方も学び林業への心構えと体力強化について ・ 使用する道具・資材のメンテナンス技術について 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各樹種を判別し、その林相の特徴や特性を理解する。 ・ 道具等のメンテナンスが作業効率や安全性に密接に関わっていることを理解し、メンテナンスの実行に必要な知識や技術を習得する。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
樹木の種類と利用	木の名前、樹木の見分け方等(樹木観察)	3.0	3.0	6.0
山の歩き方	山歩きを通じた林業担い手に必要な知識等		6.0	6.0
手工具の取扱及び刃物研ぎ	手工具の取扱い及び刃物研ぎの実習	3.0	3.0	6.0
手工具実習	鉋、鎌、鋸等を使った施業の実習		3.0	3.0
計		6.0	15.0	21.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準は「良」「可」「不可」 ・ 出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を総合評価する。 ・ 不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 			
取得できる資格	特になし			

c) 林業経営

科目		講師		
林業経営		(公財) 熊本県林業従事者育成基金	森林組合、民間林業事業者	熊本県
背景と目的	林業経営の全体像を理解し、森林所有者等への施業提案方法など林業経営に必要な基礎知識を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続的な森林管理と林業経営に関する基礎知識等について ・ 森林所有者等への施業提案（施業プラン作成やコスト分析等）について 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林情報等から施業提案書の作成や造林補助申請手続きなど基礎的な知識と手法を習得する。 ・ 林業経営方法のポイントを理解し、自身の将来的な経営ビジョンをイメージできる。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
森林管理（基礎）	持続的な森林管理と林業経営の基礎知識	1.5		1.5
森林管理（経営計画）	森林管理（森林計画、森林経営計画）の基礎知識、計画作成手法	1.5		1.5
森林管理（施業地情報）	森林の所有権・地上権等の基礎知識、境界確定の手法と対策方法	3.0		3.0
立木評価	間伐等を行う際の立木評価（素材生産に掛かる経費）作成	3.0		3.0
施業プラン（施業提案）	施業提案書作成実務	3.0		3.0
施業プラン（コスト分析）	素材生産コスト分析法及び施業工程表の作成	3.0	3.0	6.0
造林補助制度	造林関係補助金制度の理解及び補助金申請手続きに係る実習	3.0	3.0	6.0
計		18.0	6.0	24.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準は「良」「可」「不可」 ・ 出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を総合評価する。 ・ 不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 			
取得できる資格	特になし			

d) 調査測量

科目		講師		
調査測量		森林組合ほか		
背景と目的	<p>効率的かつ正確な測量・調査が実践できるよう、森林情報や森林調査の基礎、使用機材の基本操作を理解し、必要な知識や技術を習得する。また、GPSによる周囲測量等のほか、レーザー計測等の知識、ドローン撮影の操作実習により取得した画像の3Dデータ化や解析による材積等の森林資源情報を把握する技術を習得するとともに、森林GIS等の活用による効率的な造林・間伐等の施業計画を作成・管理する知識や技能を習得する。</p>			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林情報の基礎、胸高直径・樹高・樹種等の調査方法、野帳への記入方法等について ・GPSなどを用いた施業箇所の周囲測量等について ・ドローンやレーザー計測など最新情報や技術（機械操作、現地データ取得やデータ解析及び結果の活用等による施業の効率化）の活用について 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・森林調査における各種森林情報の理解と、林分や立木の調査等に必要な機材等の操作技術を習得する。 ・ドローン撮影による画像の3Dデータ化や森林資源情報の解析、森林GIS等の活用など効率的な施業計画を作成する知識や技能を習得する。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
森林調査（測樹基礎・3Dレーザー scanner）	測樹（樹高、胸高直径）及び採材・3Dレーザー scannerに係る講義及び現地実習	3.0	3.0	6.0
森林調査（測量基礎・GPS）	コンパス測量・GPSの概要及び机上実習（方法説明と現場測量、製図から面積算出）	3.0	3.0	6.0
森林調査（GIS、航空レーザー計測）	GIS、航空レーザー計測を活用した施業計画の作成・管理などの施業効率化の技術	3.0	3.0	6.0
森林調査（ドローン）	三次元データの取得や解析等による森林資源情報把握など施業効率化の技術	6.0	12.0	18.0
計		15.0	21.0	36.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準は「良」「可」「不可」 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を総合評価する。 ・不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 			
取得できる資格	特になし			

e) 安全衛生

科目		講師				
安全衛生		(公財) 熊本県林業従事者育成基金	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	山岳救助員	消防機関ほか	熊本県
背景と目的	林業における労働災害の現状と安全作業の必要性を理解し、安全作業に係る基礎知識と技術、危険回避のための予防対策などを習得するとともに、事故発生時の応急措置や健康管理法等を習得する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業労働災害の発生状況と原因、未然防止のための対策について ・ 安全作業の基礎知識と技術、事故発生時の応急措置等について 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全作業の重要性を理解し、安全作業の知識と技術を習得する。 ・ 各現場条件に応じた労働災害の予防対策（リスクアセスメント等）を講じることができる。 					
講義	(内容)	時間数				
		座学	実習	計		
林業労働安全（基礎）	林業労働安全の制度、現状・課題	3.0		3.0		
救急救命（初動処置）	林業現場における重大事故等が発生した場合の初期段階で行う救出救助活動	3.0	3.0	6.0		
KY（危険予知）及びリスクアセスメント及び訓練	KY（危険予知）の基礎知識、KY訓練及びミーティング手法リスクアセスメントの基礎知識と対策法	6.0		6.0		
現場での安全対策①	蜂アレルギーやダニの基礎知識、緊急時の通報体制等の確認・作成	1.5		1.5		
現場での安全対策②	アレルギー検査（蜂アレルギー対策）		3.0	3.0		
普通救命講習	消防本部等によって行われている応急処置技能講習（成人への救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、応急手当））		3.0	3.0		
計		13.5	9.0	22.5		
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準は「良」「可」「不可」 ・ 出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を総合評価する。 ・ 不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 					
取得できる資格	◇普通救命講習					

f) 造林・育林

科目		講師				
造林・育林		林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	森林組合ほか	樹苗会社	民間林業事業体	技能教習所 熊本県
背景と目的	造林・育林作業の種類・目的を理解し、適切な作業を行うために必要な基礎知識、技術・技能を習得する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・造林作業（地拵え、植付）及び育林作業（下刈、除伐、枝打等）の内容と目的、適期等について（種苗生産含む） ・安全作業の実施や刈払機等のメンテナンス（構造、清掃、目立て、部品交換等）について ・コンテナ苗の植栽、伐採時の木寄せや搬出で使用した重機を造林の地拵や苗木運搬に利用する一貫作業システムの実践について ・間伐のための伐採木の選定について 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造林作業及び育林作業を安全かつ効率的に実施するために必要な基礎知識、技術・技能を習得する。 ・刈払機など機械のメンテナンスに必要な知識や技術を習得する。 ・現地に応じた効率的な施業方法（コンテナ苗の植栽、一貫作業システムの活用等）について理解する。 ・間伐を行う際の伐採木の選定方法について理解する。 					
講義	(内容)	時間数				
		座学	実習	計		
造林・育林（基礎）	造林・育林に関する基礎知識や最近の動向	6.0		6.0		
種苗・苗畑管理	苗木の生産方法の理解（講義）と樹苗生産の実習	3.0	3.0	6.0		
造林①	植栽・地拵えに関する技術や樹種の選択に関する実習	3.0	9.0	12.0		
造林②	ドローン等の新技術活用による造林作業の効率化	3.0	3.0	6.0		
コンテナ苗植栽、一貫作業システム	コンテナ苗の植栽、一貫作業システムの実践現場における効率化の技術	3.0	9.0	12.0		
下刈り・除伐	下刈り・除伐等の基礎知識と実習	3.0	63.0	66.0		
除間伐・間伐（選木研修）	伐採木の選定方法	3.0	9.0	12.0		
刈払機取扱作業安全衛生教育	刈払機に係る安全衛生教育	3.0	3.0	6.0		
ロープ高所作業特別教育	ロープ高所作業に係る特別教育	3.0	3.0	6.0		
フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育	フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育	3.0	3.0	6.0		
計		33.0	105.0	138.0		
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準は「良」「可」「不可」 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を総合評価する。 ・不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 					
取得できる資格	<ul style="list-style-type: none"> ◇刈払機取扱作業安全衛生教育 ◇ロープ高所作業特別教育 ◇フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育 					

g) 素材生産

科目		講師					
素材生産		(公財)熊本県林業従事者育成基金	森林組合	林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部	民間林業事業体	林業機械会社	JLCチームくまもとメンバー
背景と目的	素材生産における利用間伐や主伐などの作業の種類・目的を理解し、安全かつ効率的に行うために必要な知識、技術・技能を習得する。また、林業で使用する道具や資材、機械の有効利用や構造を理解し、点検・メンテナンスに必要な知識、技術を習得する。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産（定性間伐／定量間伐、切り捨て間伐／利用間伐、主伐）の内容と目的、適期等について ・伐木造材のチェーンソーワーク（伐倒練習機使用）やメンテナンス（構造、清掃、目立て、部品交換等）について ・作業前の安全確認、選木、伐倒（利用間伐・主伐）、造材、集材作業、かかり木処理（補助器具の使い方）について ・商品価値を損なわない採材方法について ・作業システム、林業機械（プロセッサやタワーヤーダ等の高性能林業機械等）の操作と安全・効率的作業について ・高性能林業機械の構造・機能、保守や部品交換等のメンテナンスについて 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産作業（チェーンソーや林業機械操作等）を安全かつ効率的に行うために必要な基礎知識、技術・技能を習得する。 ・特に安全確認、正確な伐倒、かかり木処理等の技術を習得する。 ・高性能林業機械の操作を習得するとともに、安全かつ効率的なシステム作業の基本を習得する。 ・チェーンソーや林業機械のメンテナンスに必要な知識、技術を習得する。 						
講義	(内容)	時間数					
		座学	実習	計			
素材生産（基礎）	素材生産に関する基礎知識	6.0		6.0			
チェーンソー操作①	伐木造材の基本知識	3.0	3.0	6.0			
チェーンソー操作②	基本的な作業訓練の実施（指差し呼称や丸太切り等）		18.0	18.0			
チェーンソー操作③	チェーンソーの基本的な目立て、点検整備	3.0	21.0	24.0			
チェーンソー操作④	チェーンソーによる伐倒・造材技能実習（正確な受け口作り(15.0)、掛かり木処理(9.0)、大径材伐採(2.0)、採材・検収(2.0)等）		168.0	168.0			
チェーンソー操作⑤	チェーンソーによる広葉樹（クヌギ等）伐倒実習		18.0	18.0			
チェーンソー操作⑥	チェーンソーによる竹材用モウソウチク伐倒実習		6.0	6.0			
ロープワーク	ロープワーク実習	3.0	3.0	6.0			
ワイヤーロープ基礎知識	ワイヤーロープの基礎知識、ワイヤースプライス実習	6.0	12.0	18.0			
車両系集材作業	林内作業車の操作、ウインチ集材実習		6.0	6.0			
高性能林業機械	高性能林業機械の構造・機能、点検・メンテナンス、安全かつ効率的な作業システム、操作方法等の知識と技術（シミュレーター活用）	6.0	60.0	66.0			
架線の設置・運転実習	架線に関する構造、設置や操作方法の知識と技術	6.0	12.0	18.0			
熊本県林業技能競技会	技術習得の意欲向上のための林業技能競技会の見学		6.0	6.0			
特殊伐採研修	人家裏などの特殊な立木の伐採、造材作業研修		6.0	6.0			
伐木技術向上研修	伐木技術の安全かつ効率的作業の再認識	3.0	9.0	12.0			
チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育	チェーンソーに係る特別教育	9.0	9.0	18.0			
走行集材機械の運転の業務に係る特別教育	車両系木材搬出機械の運転業務に係る特別教育（走行集材機械（フォワーダ等））	6.0	6.0	12.0			
簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育	簡易架線集材装置等の運転業務に係る特別教育（架線集材機械（スイングヤーダ等））	6.0	6.0	12.0			
伐木等機械の運転の業務に係る特別教育	伐木等機械の運転業務に係る特別教育（伐木等機械（プロセッサ等））	6.0	6.0	12.0			
機械集材装置の運転の業務に係る特別教育	集材装置の操作に係る特別教育	6.0	6.0	12.0			
荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教	はい作業に係る安全教育	6.0		6.0			
小型移動式クレーン運転技	小型移動式クレーンに係る運転技能講習	12.0	6.0	18.0			
玉掛技能講習	玉掛に係る技能講習	12.0	6.0	18.0			
計		99.0	393.0	492.0			

<p>評価の基準 と方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準は「良」「可」「不可」 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を総合評価する。 ・不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 		
<p>取得できる資格</p>	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ◇チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育 ◇走行集材機械の運転の業務に係る特別教育 ◇簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育 ◇伐木等機械の運転の業務に係る特別教育 ◇機械集材装置の運転の業務に係る特別教育 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ◇荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育 ◇小型移動式クレーン運転技能講習 ◇玉掛技能講習 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ◇チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育 ◇走行集材機械の運転の業務に係る特別教育 ◇簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育 ◇伐木等機械の運転の業務に係る特別教育 ◇機械集材装置の運転の業務に係る特別教育 	<ul style="list-style-type: none"> ◇荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育 ◇小型移動式クレーン運転技能講習 ◇玉掛技能講習
<ul style="list-style-type: none"> ◇チェーンソーを用いる伐木の業務特別教育 ◇走行集材機械の運転の業務に係る特別教育 ◇簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育 ◇伐木等機械の運転の業務に係る特別教育 ◇機械集材装置の運転の業務に係る特別教育 	<ul style="list-style-type: none"> ◇荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育 ◇小型移動式クレーン運転技能講習 ◇玉掛技能講習 		

h) 路網

科目		講師				
路網		建設業労働災害防止協会 熊本県支部	林業・木材製造業労働災害防止協会 熊本県支部	森林組合	民間林業事業体	林業機械会社 熊本県
背景と目的	路網の種類と目的を理解し、安全に路網開設の作業を行うために必要な知識、技術・技能を習得する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・路網（林道、林業専用道、森林作業道）の目的、規格等について ・森林作業道の開設手順、維持管理の方法等について ・路網における水処理・排水の重要性について 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・路網の目的や位置づけ、特に森林作業道の開設における考慮すべきポイントについて正しい知識を習得する。 ・森林整備や素材生産現場で使用する森林作業道の崩れにくさや作業のし易さなどを考慮した配置方法や維持管理手法を習得する。 					
講義	(内容)	時間数				
		座学	実習	計		
路網基礎	森林路網全般の基礎知識	3.0		3.0		
作業道の開設	作業道開設の方法や作業システム等の知識、作業道開設の実習		18.0	18.0		
車両系建設機械運転実習	車両系建設機械に関する基礎講習及び操作実習		18.0	18.0		
車両系建設機械運転技能講習	車両系建設機械（バックホウ等）運転に係る技能講習	12.0	18.0	30.0		
不整地運搬車運転技能講習	不整地運搬車運転に係る技能講習	6.0	6.0	12.0		
計		21.0	60.0	81.0		
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準は「良」「可」「不可」 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を総合評価する。 ・不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 					
取得できる資格	<ul style="list-style-type: none"> ◇車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬・積込み用及び掘削用） ◇不整地運搬車運転技能講習 					

i) 木材利用

科目		講師				
木材利用		設計事務所・工務店ほか	木材会社	学識経験者	木工所ほか	熊本県
背景と目的	木材の需要動向や特性等を理解し、木材の流通を意識した素材生産を行うために必要な知識とその手法を習得する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の種類と特徴、利用方法について ・木材の流通、加工、販売について ・原木・製品市場の役割と素材に対する考え方について ・住宅や木材製品等での木材の使い方と今後の需給動向等について 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の種類や特徴、多様な木材利用の方法、消費者ニーズなどの木材流通の仕組みを理解する。 					
講義	(内容)	時間数				
		座学	実習	計		
木材の基礎①	木質材料としての利用方法	3.0		3.0		
木材の基礎②	木育（木の良さ・森の大切さの伝え方）の取組	3.0		3.0		
木材の流通・加工・販売①	木材の流通、加工、販売に関する基礎知識	1.5		1.5		
木材の流通・加工・販売②	木材市場の競り状況見学及び検収実習		6.0	6.0		
製材施設等の現地研修	スギ中径材量産製材工場、プレカット工場、合板工場見学		6.0	6.0		
木造建築物の現地研修	木造住宅、公共木造建築物、住宅展示場見学	1.5	3.0	4.5		
木工	食器類、家具、その他小物など木製品づくり		6.0	6.0		
計		9.0	21.0	30.0		
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準は「良」「可」「不可」 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を総合評価する。 ・不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 					
取得できる資格	特になし					

j) 特用林産

科目		講師		
特用林産		椎茸生産者ほか		
背景と目的	山村地域において、貴重な収入源となる特用林産物（しいたけ、たけのこ、炭）に係る基礎知識と県内の生産状況や需要動向について理解し、その生産方法を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特用林産の県内の生産状況や需要動向について ・ 特用林産物の生産方法の基礎について 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特用林産物（しいたけ、たけのこ、炭）の基本知識と生産方法を習得する。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
椎茸栽培①	椎茸の生産方法の基礎知識(伐採、伏せ込み、種駒打ち、採取等)	3.0		3.0
椎茸栽培②	ホダ木下ろし、立て込み、椎茸採取、種駒打ち実習		18.0	18.0
筍栽培	タケノコの園地づくり等による生産方法	1.5	4.5	6.0
炭焼き	炭焼きの原理と構造、工程等の基礎知識と実習	1.5	4.5	6.0
計		6.0	27.0	33.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準は「良」「可」「不可」 ・ 出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を総合評価する。 ・ 不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 			
取得できる資格	特になし			

k) 森林保護

科目		講師		
森林保護		森林組合、民間林業事業者ほか	熊本県猟友会	熊本県
背景と目的	林業に深く関係する森林病虫害や害獣について、生態などの基本知識や対策手法を理解し、林業への被害対策に必要な能力を習得する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林病虫害の種類や生態の基本知識について ・ シカ被害等の現状や対策について ・ 地域におけるICTを利用した害獣捕獲の取組や捕獲物のジビエ等での活用の取組について 			
到達目標	・ 森林病虫害について理解し、防獣ネット設置や捕獲方法等の対策を講じることができる。			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
森林病虫害①	森林病虫害の基礎知識（病虫害、シカ等）	3.0		3.0
森林病虫害②	森林病虫害現地調査、防獣ネット設置実習		6.0	6.0
地域の獣害防止活動	地域におけるICTを利用した害獣捕獲やジビエ活用等の取組	3.0	9.0	12.0
狩猟免許（わな）	わな資格取得（講習会1日、試験1日）	6.0	6.0	12.0
計		12.0	21.0	33.0
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準は「良」「可」「不可」 ・ 出席状況、学習態度、実習状況、レポート、資格取得により習熟度を総合評価する。 ・ 不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 			
取得できる資格	◇狩猟免許（わな）			

l) 職業体験 m) 能力開発

科目		講師					
就業体験・能力開発		(公財)熊本県林業従事者育成基金	森林組合、民間林業事業体	人材育成 コンサルタントほか	林業大学校 卒業生	先進林業地	熊本県
背景と目的	就業体験を通じて、林業への理解を深め、現場力や組織内での役割・連携などを学ぶとともに、就業先の選定など就業意識や意欲を高める。また、グループワーク等によって、コミュニケーション能力の向上や人的ネットワークづくりを図る。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験（インターンシップ）の実施について ・グループワーク等によるコミュニケーション等の能力開発や就業意欲の向上について ・地域林業の課題に応じた課題解決や地域イベント参加等による地域貢献活動 ・デジタル人材育成について 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就業環境等や組織の中で果たす役割等を理解し、協調性や責任感を養う。 ・コミュニケーション能力や就業意欲が向上する。 ・地域林業の課題について自ら考え、問題解決のための能力を養う。 ・林業分野におけるDX化やスマート林業推進に必要な知識を習得する。 						
講義	(内容)	時間数					
		座学	実習	計			
インターンシップ	事業体における職場体験		120.0	120.0			
コミュニケーション能力開発	社会人としての接遇や事業体内でのコミュニケーション能力向上のための研修	6.0	6.0	12.0			
グループワーク①	研修者の共通認識や議論能力向上、情報交換ネットワークづくりの推進	3.0	6.0	9.0			
グループワーク②	就業後における事業体組織内での立場、職務の認識、就業意識アップ	3.0	3.0	6.0			
林業担い手大会の参加	くまもと林業担い手元気づくり大会に参加し講演や就業者の体験発表を聴くことによる就労意欲の向上		3.0	3.0			
先進地視察研修	先進的な林業経営地や林業事業体等の取組を学ぶ研修		6.0	6.0			
地域課題解決	地域林業の課題に応じた課題解決能力開発や地域貢献活動	6.0	24.0	30.0			
デジタル人材育成	DX人材育成・スマート林業推進のための研修	3.0	3.0	6.0			
計		21.0	171.0	192.0			
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準は「良」「可」「不可」 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を総合評価する。 ・不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 						
取得できる資格	特になし						

n) 山村魅力

科目		講師			
山村魅力		実践者ほか	市町村	熊本県	
背景と目的	森林・林業の果たす役割や山村地域で働く人々の生業を学ぶことで山村の魅力を理解し、就業意識の向上や山村での生活等に必要な基礎力・基本姿勢を習得する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山村地域の伝承技術や地域のしきたり、その地域で暮らす方々の営みについて ・移住・定住に係る支援制度等について 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・山村地域の魅力や生活拠点としての理解を深める。 				
講義	(内容)	時間数			
		座学	実習	計	
山の魅力体験	木・竹等を使用したものづくりやアウトドア等の山の魅力の体感		18.0	18.0	
移住・定住、田舎暮らし経験	移住・定住情報に関する制度と最新情報、体験談に学ぶ田舎暮らしの魅力（体験者との意見交換）の体感	3.0	3.0	6.0	
計		3.0	21.0	24.0	
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準は「良」「可」「不可」 ・出席状況、学習態度、実習状況、レポートにより習熟度を総合評価する。 ・不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 				
取得できる資格	特になし				

o) 総合講義

科目		講師		
総合講義		(公財)熊本県林業従事者育成基金	熊本県	
背景と目的	就業後に即戦力となるためには、林業技術の習得だけでなく人間力が重要であり、林業大学校の生活を通じて、心構えや基本姿勢、生活の規則を守る人材を育成するとともに、就業促進を図る。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講の心構えや基本姿勢、生活規則について ・ 就職活動（就職相談、ガイダンスへの参加）について ・ 中間試験や期末試験（就業体験報告会）について 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ くまもと林業大学校の生活規則を守り、規則正しい生活ができる。 ・ 就職先の決定、又は具体的な進路をイメージできる。 			
講義	(内容)	時間数		
		座学	実習	計
入校式・オリエンテーション	入校式、オリエンテーション（受講上の留意事項のお知らせ等）	3.0		3.0
くまもと林業大学校【長期課程】受講における心得	くまもと林業大学校【長期課程】を受講するにあたっての心構えや基本姿勢など	3.0		3.0
技能習得評価及び成果報告	知識・技術の習得状況の評価及び成果報告会	6.0	18.0	24.0
研修生の就職相談	林業就業にあたっての意見や悩み、不安などの相談対応	9.0		9.0
森林の仕事ガイダンス参加	ガイダンス出席による林業事業者の情報収集と就業活動（個別相談）		6.0	6.0
地域の林業の現状と課題	県内各地域の森林・林業・木材産業の現状と課題に対する取組等	1.5		1.5
卒業式	卒業式、林業従事者としての責務、林業就業に関する夢等についての意見交換	3.0		3.0
計		25.5	24.0	49.5
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準は「良」「可」「不可」 ・ 出席状況、学習態度、レポート、筆記試験（70%以上）により習熟度を総合評価する。 ・ 不可の場合は補習等により技能等の補完を行う。 			
取得できる資格	特になし			